

観光・経済・交通・インフラ			
No.	テーマ	課題	解決策
1	観光・経済	ひかりの本数増加	駅前オフィスビルの建設。成長企業の支援
2	観光・経済	新港(トコ)の観光利用(ヨットハーバー等)	トコの観光利用は政治的な働きかけが必要→市収入増の施策を検討。
3	観光・経済	小田原城にバス駐車場を含めた遊歩道コースの整備	競輪場の廃場の場合は観光バス駐車場整備
4	観光・経済	小田原駅周辺の路線バスの観光利用と整備	
5	観光・経済	市内の観光客向けの案内サイン(多言語表示)不足	
6	観光・経済	小田原駅小田急キップ売り場不足	
7	観光・経済	ラスカによる経済効果。22万/日→26万/日。3万人が利用し1万人が消費 地元業者は少ない	
8	観光・経済	東口再開発による動線変化に伴う既存店の売上減少対策→商店街との連携	
9	観光・経済	駅構内の市有地の有効利用(ちょうちんの下)	
10	観光・経済	市街の通学者と地元の通学者の交流が無くなっている	
11	観光・経済	水産資源の減少。鳥獣被害対策	
12	観光・経済	子供服店がない	
13	観光・経済	情報発信PR不足。観光資源が絞り込まれていない	市所有の文化財の有効利用。法規制の撤廃。
14	観光・まち作り	個人事業主を増やす	
15	観光・まち作り	駅周辺の活性化→再開発が単発	
16	観光・まち作り	結婚式場が無い	市内に結婚式場を作り雰囲気上げる
17	観光・まち作り	大型店の集中	
18	観光・まち作り	大企業の誘致	
19	観光・経済	高級住宅、滞在型の人間ドック、砂浜、駅前、都市計画、	
20	交通・インフラ	一方通行が多過ぎる	
21	交通・インフラ	公共施設が古い	
22	交通・インフラ	水道網の老朽化	
23	交通・インフラ	商業施設は少ない→広い宅地	
24	交通・インフラ	建築→高さ制限、様式制限、色彩制限	
25	交通・インフラ	都市景観→マスタープランの欠如	
26	観光まちづくり	公共施設の建設の地元企業・会社にする(ex 小田原城改修)	特区
27	観光まちづくり	これからの小田原の成長戦力は新観光立国 ～があるから～もある 気候、歴史、文化、地場産業、自然、食	地方→県→国
28	観光まちづくり	農地へ企業誘致	規制緩和
29	観光まちづくり	メリハリのある高さ制限	新しい都市計画 セットバックなど
30	観光まちづくり	観光用の港がない	ガイドブックで見て「人が来なくなる町づくり」 景観地区・美観地区をつくり、城下町なり城下町らしさをつくる(農地・里山なども良い)
31	観光まちづくり	まりづくり(中心市街地)の規制	観光資源を掘り起こす ～が ではなく ～も出来る 規制緩和の議論は慎重に
32	観光まちづくり	土地開発事業 遊休地が多すぎる 規制緩和?	すべての事に対して規制緩和するには、議会でももう少し違った方向からのアプローチ が必要ではないか
33	観光まちづくり	観光客の通過点になっている	意見集約
34	観光まちづくり	小田原城の規制	
35	観光まちづくり	地域企業の連携により今までできなかった事業の展開(ほうとくエネルギー)	
36	観光まちづくり	船の乗り入れ	
37	観光まちづくり	農泊	
38	観光まちづくり	労働人口の減少(西から東へ移動)	
39	観光まちづくり	担い手減少・自治会・消防団・商店街	
40	交通インフラ	JR上り線の最終時間が23:00	
41	交通インフラ	駅・中心市街地以外の交通手段(公共) ex 片浦地域は週末の公共バスがゼロ0	公共交通に頼らない コミュニティバスなど
42	交通インフラ	人口分散によるインフラコストの上昇	
43	観光まちづくり	海の資源を活かせていない	観光のまちとして
44	観光まちづくり	どういうまちを作るかのビジョンがない	小学生から教育に入れる(歴史・文化・観光)
45	観光まちづくり	地域の活動に参加する人が少なく特定の人に集中する	観光客と住民の交流の場を作る
46	観光まちづくり	都市間競争	観光客におらが誇りある街を見てもらいたい
47	観光まちづくり	県と市との連携が不足(道路整備の遅れ etc)	小田原城址公園を市民以外に有料の入場制とする →観光行政の財源へ
48	観光まちづくり	まち歩き観光 トイレが少ない	イベント型催事は実行委員会方式として身の丈に合う内容として行っ 又は 中止する
49	観光まちづくり	まち歩き観光 住民が関心を持たない	道路整備に国や県と連携できる政治家を育てる

50	観光まちづくり	イベント型観光行事に多額の補助金が投入されている	
51	観光まちづくり	危機感 人口減、財政難など まちの方向性に関心がない	
52	観光まちづくり	文化を伝える	
53	観光まちづくり	ビジョン 観光か 工業か	
54	経済	人手不足	必要とされる物 → 小田原流にアレンジする
55	経済	貧困の増加	市の収入 ex小田原城の有料→収益をうまく使う
56	経済	企業誘致のインフラ	
57	経済	交通公共について	
58	経済	買い物難民の増加	
59	経済	企業 = ゆうち	
60	経済	役所の中で必要のない仕事があるかもしれない	
61	経済	希望がもてる 街！	
62	観光まちづくり	小田原に行く目的がない	小田原のフードブームを作る
63	観光まちづくり	観光地としてのイメージが強い	小田原名所フリーバスを作る
64	観光まちづくり	地域のブランド化	小田原駅前にサカナセンターを作る
65	観光まちづくり	住みたいランクを上げる	バリアフリーを前面に出して、観光誘致
66	観光まちづくり	住みやすい町 女性、子どもたちにとっての町	一夜城を整備
67	観光まちづくり	観光	アプリの整備 5G対応
68	観光まちづくり	工地活用 工場跡地	観光・街づくり ある施設を使って、女性・子供に
69	観光まちづくり	映画の街	観光開発
70	観光まちづくり	公共施設維持（基準）	城址公園を作る
71	観光まちづくり	恐竜博物館	港の一般開放（マリーナ利用）
72	観光まちづくり	アンパンマンワールド設立	関東学院あとに補助を出し、有名私立高を呼ぶ
73	交通インフラ	インフラ整備 防災。観光（地価）	漁港の駐車場を増やす
74	交通インフラ	道の整備 各地からの交通×	アンパンマンワールド(城址公園)の活用 アンパンマン電車を作る
75	交通インフラ	バス路線を活用する	競輪場の一般開放
76	交通インフラ	公共施設の活用 施設を選択	
77	交通インフラ	公共道路の整備が必要	
78	交通インフラ	踏切 多い	
79	交通インフラ	現状の設備を活用する	
80	交通インフラ	バリアフリー	
81	交通インフラ	税収不足	
82	交通インフラ	交通安全	
83	交通インフラ	地目制限	
84	交通インフラ	駐車場問題	
85	交通インフラ	都市計画(下水)	
86	交通インフラ	公共交通(バス等)	
87	観光	駐車場の整備(設置) → 駐車場 案内システム	【観光】駅周辺の施設 表示 設置
88	観光	観光地周辺に駐車場が少ない	競輪場を一般開放し活用
89	観光	小田原西口に観光案内所が必要	世代間交流
90	観光	港を使い誘致を	行政 “結論ありき”うまく絡めて民間主導に
91	観光	既存の施設を使い 観光促進 exアンパンマンランド	漁港の新施設TOTOCOを活用して！
92	観光	駅前の人通り減少	稼ぐ方法 小田原城二の丸広場 ここで入場料をトル！
93	観光	小田原の顔 東口 駅前の印象が悪い 城下町の香りが全くしない 景観を考慮していない	アンパンマンワールド アンパンマン鉄道
94	観光	小田原駅周辺に日用品店がない	ジビエツアーで観光資源
95	観光	中心市街地の交通システムを考える 一方通行の解消	小田原アリーナ 運動場がないのでグラウンドを設け総合公園化
96	観光	市街地の2次交通を考える ex電気自動車	
97	観光経済	インバウンド対策が不足	市街化調整区域 住居地域の見直し → 商業利用できるように
98	観光経済	飲食店以外 少ない	観光ルート ジビエ エコツアー
99	観光経済	魅力がボヤっとしている	小田原城 望遠鏡のVR化 江戸時代
100	観光経済	小田原といえば！がない	小田原城 1泊100万円 殿様 顔パス

101	観光経済	観光の主は小田原城くらい	一夜城を桜で埋め尽くす
102	観光経済		早咲きの枝 桜 紅葉 植える
103	観光経済		早川地区のプレジャー的観光
104	観光経済		小田原の魚・野菜を食べる
105	観光経済		飲み会は小田原の個店で
106	観光経済		農地の商業利用
107	観光経済		農業参入 都会の人 セカンドハウス
108	観光経済		農家資格取得の緩和
109	観光まちづくり	地域のマーケットの減少	
110	観光まちづくり	子どもが楽しめる公園・施設が少ない	
111	観光まちづくり	地域のことに無関心な人が多い	
112	観光まちづくり	観光資源発掘	
113	観光まちづくり	人口減少	
114	観光まちづくり	地域交流の場が少ない(公園・遊・運動・スポーツ)	
115	観光まちづくり	店が校外に多い	
116	観光まちづくり	空き家	
117	観光まちづくり	少子高齢化	
118	交通インフラ	交通渋滞(時間で) 1号線 インフラ	
119	観光・まちづくり	統一感 ブランド力 景観統一 住民意識	
120	観光・まちづくり	観光資源が絞り込めていない	
121	観光・まちづくり	北条	
122	観光・まちづくり	魅力のある町 地域の魅力のアピール	
123	観光・まちづくり	外国観光客の受け皿 宿泊施設	
124	観光・まちづくり	他地域からの流入	
125	観光・まちづくり	海外の人が増えてマナーやゴミなど心配 違法の民泊など	
126	観光・まちづくり	店が閉まるのが早い	
127	観光・まちづくり	③閉鎖的である ④人口が減って経済が低下する ⑤空き家が増える	
128	観光・まちづくり	買い物の場所が(個人商店が)なくなってきている	
129	観光・まちづくり	地域資源利用活用 山・川・海、農林水産体験 観光に生かす	
130	交通・インフラ	最終の上り電車早い 始発の下り電車遅い	
131	交通・インフラ	①道路が狭くて子供が危ない ②遊ぶ公園が少ない 広い公園が少ない	
132	交通・インフラ	交通の便	
133	交通・インフラ	渋滞でこまる	
134	交通・インフラ	校外交通インフラ 運転免許返納	
135	交通・インフラ	お迎え渋滞 駅	
136	交通・インフラ	国府津駅 小田原駅西口	
137	交通・インフラ	企業の活性化	
138	観光・町づくり	買い物 駅前	【中心市街地の生活(日容認)買い物】
139	観光・町づくり	自治会 住人減少	【地元にお金をおとす】
140	観光・町づくり	シャッター通り	何が必要
141	観光・町づくり	小田原駅の東海道線 小田急線 大雄山線の周遊切符の発行	
142	観光・町づくり	駅(東口)降りても道が分からない	
143	観光・町づくり	駐車場が駅前に少ない	
144	観光・町づくり	歴史・文化保護	
145	観光・町づくり	海水浴場が無い	
146			
147			
148			

医療・福祉・教育・子育て			
No.	テーマ	課題	解決策
1	医療	市立病院の機能不足・医師不足・大学との連携	近隣市町村との連携。病院用インターチェンジ
2	医療	子供医療の利便性を高く。町医者→市立病院→大学病院 外来受付はしない	市内医療機関との連携
3	医療	産婦人科の病院不足。新しい病院は高い	市内で新たな病院建設が望ましい。但し費用の問題。
4	医療・福祉	老々介護	
5	医療・福祉	産科の問題(数と費用)	
6	医療・福祉	高齢単身生活者を増進させるような政策になっていないのか?	
7	医療・福祉	高度医療施設と運用システム	
8	医療・福祉	健康増進のための施設とシステム	
9	医療・福祉	少子高齢化	
10	医療・福祉	外から人間ドックに来る(滞在型の)	
11	医療・福祉	結婚のお手伝い→出生率を上げる	婚活事業を積極的にする
12	医療・福祉	子供のための資料と健康管理のしくみ	
13	医療・福祉	担い手不足→地域コミュニティ参加者の重複	
14	医療・福祉	他人任せ政策の過多→家族間での解決をしない形	
15	教育・子育て	子供会がなくなる	自然豊かな小田原で子育て
16	教育・子育て	教育行政(民間の意識が欲しい)	
17	教育・子育て	子供の遊び場が少ない	
18	教育・子育て	人間力を高める教育	
19	教育・子育て	スポーツをする場所が少ない	
20	教育・子育て	地域と子ども会	
21	教育・子育て	学校から子供が居なくなる	
22	教育・子育て	人口減少→子供が少ないのに施設、面倒等に振り回されている現れ	
23	教育・子育て	人口減少→出生率(全国的課題)	人口を増やせ!
24	教育・子育て	地元離れ	
25	教育・子育て	地域に根ざした人間を作る。	
26	教育・子育て	行政主導の婚活	農林業の環境を整える
27	教育・子育て	地域でのなりわい	小田原にある物を小田原の人に知ってもらい使ってもらう
28	教育・子育て	空き家	小田原にあるものを知ること、伝えること
29	教育・子育て	人口減少	
30	教育・子育て	山の保全	
31	教育・子育て	農業従事者の高齢化	
32	教育・子育て	婚活	
33	教育・子育て	子供が遊べる場所がない	
34	教育・子育て	子どもの社会性	
35	教育・子育て	高齢住宅	
36	教育・子育て	人間ドック 数日滞在	
37	教育・子育て	砂浜	
38	教育・子育て	都市計画 駅前	
39	教育・子育て	出生率	
40	教育・子育て	市立病院	
41	教育・子育て	人間力を高める	
42	教育・子育て	教育問題 小田原市は子供に対する予算が他市に対して少なすぎる	
43	教育・子育て	(交流人口のための)単発での受け入れ可能な保育園や幼稚園	
44	教育・子育て	学校の雨漏りなど予算がない	
45	医療福祉	認知症の増加	小田原-南足柄 → 合併 ← 市立病院-上病院
46	医療福祉	老老介護	
47	医療福祉	医療 = ゆうち	
48	医療福祉	施設の配置について	
49	医療福祉	車椅子を安全に利用できる交通が少ない	
50	教育	小田原の文化や歴史を知らない。興味を持たない人が多い。ふるさとに誇りが持ててない	
51	教育	教育 = ゆうち	
52	教育	親の偏見	
53	教育	いじめ	
54	教育	文教地区に競輪場があり、環境が最悪。通学路も危ない	競輪場を廃止し、梅林など 文教地区にふさわしい場所 又は 観光客の回遊性に寄与する施設とする
55	教育	ひきこもり	若い世代の移住を増やすために ・教育環境の整備 ・三の丸小の活用 ・一貫教育校の活用

56	医療福祉	産婦人科をもっと増やしてほしい	市立病院の建て替え 最新の機器等で起爆剤に
57	医療福祉	産婦人科が少ない	
58	子育て教育	県央との賃金格差	
59	子育て教育	子育て支援	
60	子育て教育	女性と子に住みやすい街	
61	子育て教育	子供支援が少ない 他の街に比べると	
62	子育て教育	私立中高一貫校を	
63	子育て教育	教育 私立有名校が欲しい	
64	子育て教育	給与の格差 → 保育士	
65	子育て教育	高校野球で勝てる高校	
66	子育て教育	待機児童	
67	子育て教育	教育予算が少ない	
68	子育て教育	子どもの遊び場	
69	子育て教育	関東学院の活用	
70	医療	医療過疎 小児	【観光経済】
71	子育て	子どもの遊び場がない	西口を住居エリア開発へ
72	医療	出産できる病院が少ない	新たな動線による 期待(移住、定住、観光、生産性UP、経済)
73	医療	病院建て替えるの？	
74	教育子育て	学ぶ場 大学 が少ない	
75	教育子育て	目指されるような教育環境がない	
76	教育子育て	生産年齢高齢化 跡継ぎ問題	
77	教育子育て	子ども会がなくなりそう	
78	教育子育て	自治会と子供会がうまくいかないんですが	
79	教育子育て	子どもの居場所がない	
80	教育子育て	ボランティアの担い手が高齢化している	
81	教育子育て	保育(0、1、2歳児)の受皿が足りない	
82	医療・福祉	保育所の現状から出生率の低下子どもの減少は年々感じる(特に低年齢)	小田原北条風魔の里をもっとアピールしてほしい
83	医療・福祉	医療福祉の人が足りない	給料を増やす 福利厚生
84	医療・福祉	大きいちゃんとした病院がない	休みを増やす
85	医療・福祉	産婦人科の増設	小田原市として出来る事から優先順位を決めて取り組む
86	医療・福祉	子どもに関わる予防接種のすべて無償化	小田原市独自の出生から老後までのフォローシステム
87	教育・子育て	核家族の問題 若い世帯の子育ての支援の充実	産婦人科医療機関の増設⇒産婦人科医師の不足問題の解決
88	教育・子育て	10年後の保育所 個別の保育指導の確立 保育所への専門職の配置 看護師 心理士	小田原市が単独で補助金を出す
89	教育・子育て	小田原版 ネウブラ	補助金の活用
90	教育・子育て	補助金 子どもに対して一人ひとりの対応できる補助	妊娠期から出産・子供の就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で行政が設置運営する拠点を
91	教育・子育て	保育士不足	中高から保育士を育てるインターシップ
92	教育・子育て	子育てにやさしい街小田原 定住人口を増やすために！	観光客を増やす
93	教育・子育て	駅周辺に子供服のお店が無い(緊急で購入したいことがある)	空き家を宿泊施設にする
94	教育・子育て	小学校が単級でクラス替えができない	農業希望者に譲る
95	教育・子育て	人口	酒匂川取水籍の放流
96	教育・子育て		福祉(保育・教育) 小田原の大人たちが子育てに支援する気持ちを持つこと(意識すること)
97	教育・子育て	若い子育て世代の人口増加に向けて働き先と子育て支援の充実化	【駅近くで子供をあずけられる】
98	教育・子育て	子供も住民もいなくなった地域	駅保育 マンション保育 → 条例 新しい方式
99	教育・子育て	公立小中学校の2学期制の廃止 3学期制の復活	
100	教育・子育て	子供の教育が出来るのか学力低下	
101	教育・子育て	マンション+保育園 セットにして増やす	
102	教育・子育て	全国へ小田原市をPR (丸の内ファミリー層)	
103	教育・子育て	子育て家族が少ない	
104	医療・福祉	老々	地域医療法人
105	医療・福祉	保育コンシェルジュのような各業界の案内人設置 介護、育児、福祉	
106	医療・福祉	介護人材が足りない	
107	医療・福祉	独居老人	
108	医療・福祉	里帰り出産	
109	医療・福祉	家族人口増を戦略的に取り入れる	
110	医療・福祉	医療のインバウンドで地域活性化	

防災・安心・安全			
No.	テーマ	課題	解決策
1	防災	道路のセンターライン表示が薄い	
2	防災	海岸部、河川部の災害対策	
3	防災	根府川～真鶴料金所までの135号で高地への避難路がない	国道135号、根府川駅への避難歩道整備。
4	防災	防災無線が聞こえない。将来5Gでどうなるか	
5	安全・防災	地籍調査事業の実施	
6	安全・防災	自治会の運営	
7	防災	広域災害に対する防災対策に不安	
8	防災防犯安全	災害対策	
9	防災防犯安全	防犯	
10	防災防犯安全	小型発電機の活用	
11	防災防犯安全	企業誘致（企業撤退後の土地活用）	
12	防災防犯安全	避難所対策	
13	災害	消防団のレベルアップ	
14	災害	地震はやっばり怖い	
15	防災・安全	地震・防災 古い建物が多い 不安	
16	防災・安全	道路の安全 事故多発により お散歩コース 園としてマニュアルや規制されてしまう	
17	防災・安全	養浜 酒匂川 河床の堆積土砂→海に出ない為 浜がやせ続けてる	
18	交通・防災	新幹線通勤の方のためにダイヤを見直し本数を増やす	【町がわかりにくい】
19	交通・防災	移住促進のために都心への通勤に対して補助金等	自由通路にわかりやすい表示 駅長会
20	交通・防災	小田原駅 東口と西口の交流が無い	地域の産品 ちょうちんetc ワークショップ
21	交通・防災	コミュニティバス(高齢者の交通手段)	
22	交通・防災	小田原駅西口開発 駐車場増 ローター整備	
23	交通・防災	防災の為、緊急避難先の見直し	
24	交通・防災	建物など防災 一般住宅の減殺対策など	
25	交通・防災	ペットに防災対策 犬、ねこなどの同行避難など	
26	交通・防災	避難先ルート見直し 地域の方との	
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			

## 環境・エネルギー・農林水産

No.	テーマ	課題	解決策
1	エネルギー・農林	山の保全	
2	エネルギー・農林	地元の木材利用	
3	エネルギー・農林	農林業等の一次産業の活性化	
4	エネルギー・農林	農業従事者の高齢化	
5	エネルギー・農林	耕作地放棄の増大	
6	エネルギー・農林	海浜、砂浜の復元→取水堰の堆砂	
7	環境	ゴミがカラスに散らかされている場所がある	ゴミ収集車がゴミ捨て場の状況をチェックし、カラスに荒らされている場の状況に適した対策をする
8	環境	海があまり利用されていない	
9	環境	田んぼが減っている	
10	環境	生活環境を整備 住みやすいものへ	
11	環境	再生 → バランス	
12	環境エネルギー	人口減少	
13	環境エネルギー	山の保全	
14	環境	猿が農作物を荒らしている	
15	環境	環境問題 シカが森を食べつくす前に ジビエ	小田原で遊んで小田原を知る
16	環境	ゴミ 道路 → 海へ ゴミポイ捨て問題	小田原西口 観光窓口化
17	環境	漁獲量減	日本一、世界一 どこにもないものを作る やる
18	環境	竹林拡大	創業支援
19	環境	耕作放棄	海の海岸線を見直す 江ノ島～小田原
20			生ゴミを減らす
21			ジビエ協議会を創り、飲食店・土産店で販売
22			コンビニがゴミ回収する制度
23			養殖業をやる
24	環境エネルギー 農林水産	海の魚がいなくなった	
25	環境エネルギー 農林水産	畑で虫や獣が変わった	
26	環境エネルギー 農林水産	畑で(海外の 外来の?)植物が増えてこまっている	
27	環境エネルギー 農林水産	農家の高齢化 人数の減少	
28	環境エネルギー 農林水産	⑥農地を今後どうしていくのか	
29	環境エネルギー 農水産	各避難所の太陽光エネルギー 再生エネルギー活用 自給自足	【ソーラー活用】
30	環境エネルギー 農水産	再生可能エネルギーの活用	自然エネルギーを活用
31	環境エネルギー 農水産		防災用の電源
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			

その他			
No.	テーマ	課題	解決策
1	その他		強いリーダーが欲しい
2	少子高齢	学生や若い世代が少なく、労働力や購買力が下がっている（商業が停滞）	
3	少子高齢	高齢者にもっと活躍してほしい	高齢化にともなう空き家問題 市と民間と協力をして早めの対策を
4	少子高齢	人口減	
5	少子高齢	高齢化	
6	少子高齢	どうすればこの市にするか？	
7	少子高齢	孤立老人	
8	VISION		ビジョンづくり 結論ありきの行政主導ではなく、一方で行政と一体化となるディスカッションが必要
9	VISION		コピーアンドペースト 良い事はマネる！
10	VISION		全てに「魅力」「誘致」がポイント
11	VISION		市民と行政の協議・協同(働)のプラットフォーム
12	VISION		シナリオ有りの議論 → WHY ? → 議会
13	VISION		現状をもっと明らかにして、危機感を市民に持たせる
14	VISION		
15	VISION		リーダー論
16	VISION		今回の集まりのような場で色々なビジョンの案を集め、ビジョンを完成させていく。市民にもわかりやすいカタチで伝える
17	無関心		細分化した意見のすいあげ
18	無関心		地域に場を設け、無関心を解決
19	無関心		地元を知り、好きになる
20	無関心		市民税のDisclose → 無関心 ↑
21	その他	ポジティブシンキングが必要	
22	計画	まちの未来図が見えてない ex観光収入増したい？ その割にはスクランブルのマンションとかありえない・・・	【まちの未来図の描き方】
23	計画	人気の地域 二極化	聴こう！
24	計画	市街化調整区域が多く、流入人口の受け皿になる用地がない →これにより景観が保たれている？	若い力 若い考え
25	計画	人口減少が予測されているが、適正化地域の線引きは逆行しているのではないか	地域(エリア)を決め、その地域の市民による未来図づくり
26	計画	選挙に行かない人 行って！	豊かな地域？ ◎心の豊かさ ◎経済的豊かさ
27	計画	都市部の受け皿	地域ごとの未来 一きめ細かく！ 意見を徴収する
28	街づくり	子どもの遊び場 → そもそも子どもが少ない 行政主導の婚活パーティー	まちづくりからまちづかいへ
29	街づくり	学校 中・高一貫校 特色のある学校がない	環境と経済のバランス
30	街づくり	根府川・真鶴 135号 津波避難経路 なし	街を好きになって！ 関心がない人に関心を持たせる。 行政の姿勢 発信方法 SNS
31	街づくり	交流人口、流動人口 → ニーズとのミスマッチ	意識を共有する土壌 正直、単身者サラリーマン 両親・家あり健在 → 困っていない
32	街づくり	小学校 単学級の顔ぶれ同じ	連合自治会ごとに“総合計画”有り 特色ある地域の活かし方
33	街づくり	空き家問題 → 1万戸の空き家	行政・自治体 高齢者対象 全戸調査アンケート
34	街づくり	新幹線 本数少ない	あるもの活かし
35	街づくり	産婦人科の不足	“自分ごと”にかみ砕いて ものごとを考える
36	街づくり	公共施設の老朽化 → 建物、道路	「参加者」を増やす(草の根)
37	街づくり	都市間競争 → 周辺道路整備に対するネットワーク不足	マイナスなことをプラスに！ 課題の解決方法は人ごとじゃない
38	街づくり	人口減 ○× 少子高齢化 独居老人多い	小田原の魅力・可能性を再発見する
39	街づくり	後継者不足による なりわい維持が困難	交流の場がない
40	街づくり	防災関係 センターライン表示うすい 水害対策	タイムスケジュールを決めた計画
41	地域づくり	自然減、社会増 細かい分析必要	数字などの具体的な計画
42	地域づくり	銀座通り交互通行時代があった 大工町交差点 通行可になった	「教育子育て」小田原独自の補助金
43	地域づくり	子どもが楽しめる公園施設 → 不足	小田原市民が“幸せだ！”と思えるまちを作る
44	地域づくり	環境維持 市街化調整区域 バランス	市民にとって幸せとは何か？ 安心であること。安全であること。
45	人口減少	子供が少なくなってきた	市民の意見が反映される工夫
46	人口減少	人口減	小さなバスで地域循環 住民にやさしい交通網づくり
47	人口減少	職人不足 若手不足 (大工)	～が より ～も たくさんあることに気付く つかう
48	人口減少	駅前シャッター街	【経営】 成長企業の支援
49	人口減少	地元での消費減少	強いリーダーの確立
50	公共	公共施設が古くなってしまっている 学校の校舎	意見集約する人材 地方→県→国へ 声を届ける人
51	公共	漁港周辺の駐車場不足	【公共】
52	公共	空き家の増加 ←所有者が小田原にいない	公共施設 民営委託
53	公共	郊外の家があまりそう	地域と行政の連携を
54	その他	マンション住民	長期的な視点で考える
55	その他	自治会の維持が困難	建設的な話し合い
56	その他	船頭が多い (既得権益問題)	空き家の有効活用 (無償提供?)
57			遊びやすい公共施設 土地
58			トコを利用して観光客増加